

【社会資本総合整備計画 事後評価書】
地域における住環境の改善及び浸水対策の推進
（第2期）（重点計画）

（通常・重点）

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	地域における住環境の改善及び浸水対策の推進（第２期）（重点計画）														
計画の期間	平成２９年度 ～ 令和０３年度 （５年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	町田市														
計画の目標	下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		5,833	A	5,833	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H 2 9 当初	H 3 1 末	R 3 末
1	未普及を解消するため、H 2 9 年度～ R 3 年度で、水洗化率を97.5%から97.9%にあげる。			
	水洗化率	98%	98%	98%
	公共下水道もしくは合併浄化槽による汚水処理人口 / 市内全人口			
2	浸水被害を軽減するため、H 2 9 年度～ R 3 年度で、浸水対策達成率を37.2%から38.2%にあげる。			
	雨水管面積整備率	37%	38%	38%
	雨水管整備済み面積 / 計画雨水管整備面積			
3	鶴見川クリーンセンターにおいて流入量の増加に伴い水処理棟を増設し、鶴見川水系及び東京湾の富栄養化防止に資するため、高度処理設備を設置する。			
	処理場施設における高度処理化率	10%	16%	16%
	高度処理能力（m ³ /日） / 現有処理能力（m ³ /日）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
【浸水対策達成率】平成27年度に雨水管整備済み面積の対象となる条件を変更した。本計画の定量的指標は新条件における数値を用いる。														

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	町田市	直接	町田市	終末処 理場	新設	鶴見川クリーンセンター	水処理棟増設工事（12,300m 3/日）	町田市						2,952		-	
	A07-002	下水道	一般	町田市	直接	町田市	管渠（ 污水）	新設	未普及解消事業	污水管整備	町田市						378		-	
		R2年度から重点条件変更をうけ、一部基幹事業を別計画に切り出し。事後評価はR4年度に同時に受ける。																		
	A07-003	下水道	一般	町田市	直接	町田市	管渠（ 雨水）	新設	浸水対策事業	雨水管整備	町田市						2,503		-	
		H30-R3地域における下水道の総合的な推進（防災・安全）（第2期）（重点計画）にて同事業を実施。全体事業費 2,503百万円																		
											小計						5,833			
											合計						5,833			

事後評価		
事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	
町田市の下水道事業は町田市下水道事業計画に基づき実施している。そのため、市の下水道事業や経営計画について評価、審議するにあたり、事後評価を町田市下水道事業評価委員会にて実施する。	令和5年2月	
	公表の方法	
	市のホームページにて公表	
事業効果の発現状況		
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【鶴見川クリーンセンター/処理場】：3系水処理棟増設工事（高度処理）が完了し、処理場施設における高度処理化率が16.2％へ向上した。 【未普及解消事業/管渠】：真光寺町をはじめとする市街化調整区域において污水管整備を実施した。水質の向上に向けた污水処理の推進を図り、水洗化率が97.5％から99.4％へ向上した。 【浸水対策事業/管渠】：浸水履歴から優先度の高い対策箇所において雨水管整備を実施した。浸水被害の軽減を図り雨水管整備率が37.2％から37.6％へ向上した。また、2022年時点では、雨水管整備を実施した箇所において浸水被害は確認されていない。	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）		
特記事項（今後の方針等）		
社会資本総合整備計画を策定するにあたり、「下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。」を目標に掲げ、「地域における住環境の改善及び浸水対策の推進（第3期）」を策定した。 また、2017年に策定した「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」に基づき、対象地域における公共下水道への接続意向調査を実施し、対象となる住民の多くが接続に前向きな地域について、2017～2021年度の前期5ヶ年で優先して污水管整備を行った。 今後は2020年に再度実施した接続意向調査の結果をもとに、2022年～2026年の後期5ヶ年で整備を進め、さらなる水質の向上と住環境の改善に努める。 なお、社会資本総合整備計画期間における評価対象期間は、2018年～2021年の4年間が対象となる。		

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	水洗化率		
	最 終 目標値	98%	当市が実施する汚水管整備や公共下水道への切替え啓発、合併処理浄化槽への切替え、民間事業者による宅地開発等に伴う公共下水道の整備により、水洗化率が向上した。
	最 終 実績値	99%	
2	雨水管面積整備率		
	最 終 目標値	38%	事業実施にあたっての課題整理や関係機関との調整、他企業埋設管移設に多くの時間を要し、実施年度中に事業が完了まで至らず事業完了が計画期間を超えてしまうことから、目標を達成できなかった。
	最 終 実績値	38%	
3	高度処理化率		
	最 終 目標値	16%	3系水処理棟増設工事（高度処理）が完了し、処理場施設における高度処理化率の目標値を達成した。
	最 終 実績値	16%	